

第5回真駒内地区新設義務教育学校検討委員会

議事次第

日時 令和6年10月28日（月）10:00～12:00

場所 札幌市立真駒内中学校 1階 金工室

○配付資料

- ・資料1 真駒内地区新設義務教育学校 校名案「絞り込み」4案
- ・資料2 真駒内地区新設義務教育学校 校名案選定方法
真駒内地区新設義務教育学校 校名案選定基準
- ・資料3 (案) 真駒内地区新設義務教育学校の校名案に関する意見書

次 第

司会 札幌市立駒岡小学校長 岩村 鋭介

1 開会

2 議事

(1) 真駒内地区新設義務教育学校 校名案選定について

(2) 今後の予定について

3 閉会

真駒内地区新設義務教育学校 校名案「絞り込み」4案

	「真駒内」	「真駒内桜山」	「真駒内さくらやま」	「真駒内未来」
よさ	<ul style="list-style-type: none"> ・愛着が強い ・地理的位置がわかりやすい ・全国的な知名度がある ・シンプルでよい ・義務教育学校後期課程から入学する駒岡小学校の子どもへの配慮を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛着が強い ・郷土愛が育まれる ・校区が特定できる ・義務教育学校では小学校と中学校が協力・協調し合うことが大事という思いが感じられる ・駒岡小学校の駒も入っており、駒岡小学校の子どもへの配慮を感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の子どもたちにもわかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・わくわく感が感じられる ・響きが良い ・未来に期待感が感じられる
懸念	<ul style="list-style-type: none"> ・「真駒内」だけだと地理的に広すぎるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・字数が多く、児童生徒が学校名を記載する時間がかかるのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字で伝わるものもあり、漢字文化を残し、大切にしていきたい ・自分が住んでいる地名を漢字で書ける子どもに育ってほしい ・現桜山小学校は漢字表記であり落ち着いた印象がある 	
その他				<p>(参考)「未来」のつく園・学校名称は市内・全国的にも一定程度ある。 (大阪市立義務教育学校生野未来学園、札幌未来保育園、札幌情報未来専門学校、飛鳥未来高等学校等)</p>

真駒内地区新設義務教育学校 校名案選定方法

STEP 1

(事務局から事前送付した) 公募結果等に基づき、各委員が、望ましいと思う校名案やその理由、感想等について述べる

第4回検討委員会
(10月7日)

STEP 2

事務局で絞り込んだ校名案の他、候補案が無いかを検討

STEP 3

校名案から「絞り込み」を行い、「有力候補案」を決定(10案→4案程度)

STEP 4

「有力候補案」の中から校名案を決定(全会一致を原則とする)

第5回検討委員会
(10月28日)

校名案決定

真駒内地区新設義務教育学校 校名案選定基準

校名案の選定にあたっては、真駒内地区新設義務教育学校検討委員会において、以下の基準に沿って理由が明確な校名案を複数選定することとし、最終的には委員の協議により1つを選定する。なお、応募数の多少は校名の選定に影響しないこととする。

【基本方針】

- ・「札幌市立義務教育学校〇〇学園」の〇〇の部分を選定する
- ・児童生徒、保護者、地域住民に親しみやすく、広く受け入れられやすいこと
- ・真駒内地区の自然環境や地理的イメージがわかりやすいこと
- ・漢字、ひらがなまたはカタカナにより表記され、あて字、一般的な読み方ができない、読み方が何通りもできる校名でないこと
- ・他市等に類似の校名がなく、誤解されることがない校名であること

(案)

令和6年(2024年)11月〇日

札幌市教育委員会
教育長 山根 直樹 様

真駒内地区新設義務教育学校検討委員会
代表 横堀 道子

真駒内地区新設義務教育学校の校名案に関する意見書

真駒内地区の新設義務教育学校の校名案について検討し、これを取りまとめたので、下記のとおり意見を申し述べます。

記

1 校名案

札幌市立義務教育学校〇〇〇学園

2 選定理由

(1)

(2)

これらのことから、真駒内地区に新設される学校の校名には本案が最もふさわしいと判断した。